

## 平成22年度第1回流山市史編さん審議会会議録

- 1 日時 平成22年10月14日(木)  
午前10時00分から午前11時30分まで
- 2 場所 中央図書館会議室
- 3 出席者等  
審議会委員  
相原正義委員 小川浩委員 小疇尚委員 下津谷達男委員  
清藤一順委員 村田一二委員 山田友治委員 友金肇委員  
(欠席:青木更吉委員 堀部昭夫委員)  
事務局  
海老原生涯学習部長 川根図書・博物館長  
鈴木図書・博物館次長 小栗学芸係長 北澤主任学芸員  
傍聴者 なし
- 4 議題等  
(1)平成21年度流山市史編さん事業報告について  
(2)平成22年度流山市史編さん事業計画について  
(3)その他
- 5 議事要旨

(鈴木次長)

ただいまから、平成22年度第1回流山市史編さん審議会を開催いたします。

本年度は委員の改選にあたります。まず初めに委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。

海老原生涯学習部長より各委員へ委嘱状を交付。

本日、司会進行を務めさせていただきます図書・博物館次長の鈴木でございます。よろしくお願いたします。

議事の前に本日の配布資料の確認をさせていただきます。

会議次第・会議資料 委員名簿

平成21年度博物館年報

平成22年度博物館事業案内パンフレット

調査研究報告書第27号『利根運河120年の記録』を配布させていただきます。

本審議会は、平成22年度になり初めての開催となりますので、はじめに川根館長より職員を紹介いたします。(職員紹介)

(川根館長)

事務局職員紹介

(鈴木次長)

続きまして、本来であれば鈴木教育長から皆様へご挨拶をさせていただきますところでございますが、教育長は本日所用により出席できません。

るので、代わって海老原生涯学習部長よりご挨拶を申し上げます。  
海老原部長お願いします。

(海老原部長)  
あいさつ

(鈴木次長)  
ありがとうございました。  
今年度は委員の改選にあたり、新たな委員が加わりましたので、各委員の紹介をさせていただきます。

(事務局から各委員の紹介)

(各委員からの挨拶)

(鈴木次長)  
「流山市史編さん審議会条例」第6条第1項の規程によりまして、会議の議長は会長に務めていただく事となっておりますが、本日は改選後最初の会議のため、会長・副会長が決まっておりません。よって川根館長を仮議長として、会長・副会長の選出を行いたいと思います。

(川根仮議長)  
会長・副会長を選出したいと思います。立候補又は推薦により決定したいと思いますますが、委員の皆様で何かご意見ございませんでしょうか。

(下津谷委員)  
事務局で腹案があるのでしょうか。

(川根館長)  
市史編さん審議会での経験もある小川委員を会長に、市内の相原委員を副会長に推薦したい。

各委員から拍手にて承認。

(川根仮議長)  
皆様の承認を得ましたので、会長には小川委員、副会長に相原委員と決定させていただきます。  
それでは会長が決定いたしましたので、ここで議長の任を降り、会長にお願いいたしたいと思います。  
ここからは小川会長に進行をお願いいたします。

(小川会長)  
あいさつ

(相原副会長)  
あいさつ

(小川会長)

議事に先立ち、事務局に出席委員数の報告を求めます。

(小栗係長)

本日の会議につきましては、委員10名のところ8名のご出席をいただいておりますので、「流山市史編さん審議会条例」第6条第2項により会議が成立している事を申し添えます。

(小川会長)

それでは、次第により進行させていただきます。

それでは、議題(1)平成21年度流山市史編さん事業報告について事務局から説明願います。

(小栗係長)

資料に基づき、平成21年度市史編さん事業報告をさせていただきます。

市史編さん審議会は平成21年10月23日に開催し、委員の皆様の出席をいただきました。

市史編集委員会は平成21年5月21日に開催いたしました。内容は、提出済の原始・古代・中世の原稿について及び近世・近代の章立て、市史研究21号の刊行について協議を行いました。

古文書講座は初心者を対象として、計4回で延べ157名の参加をいただきました。講師は立正大学文学部史学科非常勤講師の高尾善希氏を招いて実施いたしました。

講師派遣事業として、市民グループ等の要請に応じて、史跡めぐり講座等へ職員を講師として派遣し、市史編さん活動事業の啓発を図りました。

- ・ H21.5.18 八木南小学校 6年生勾玉づくり
- ・ H21.5.19 明治大学校友会 遺跡見学会
- ・ H21.5.19 日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会講師
- ・ H21.6.16 一人暮らし老人一日招待事業
- ・ H21.11.27 南部中学校 勾玉づくり
- ・ H21.12.5・6 千葉県北西部地区文化財発表会
- ・ H22.3.16 松戸石造物懇話会講師

資料の収集・保管事業として、市内外旧家の資史料所在調査の実施及び館内古文書の解読並びにデータベース化を継続して実施しております。21年度の整理状況は、館内古文書総点数 22,546点うち7,902点の解読を終えております。21年度の解読は399点になります。

市史研究21号については、原稿がそろった段階で刊行予定としていたが、原稿が集まらなかったため、編集作業が実施されませんでした。

流山の歴史刊行については、平成21年度刊行予定であったが、市史編集委員会からの指摘に伴う、修正や執筆の遅れにより未刊行である。

その他審議会委員からの意見として、

- ・ 市史研究の刊行は隔年にこだわらず、刊行されたい。
- ・ 利根運河関係史の収集に努められたい。
- ・ 3館合同企画展に関する質問について
- ・ 古文書解読講座は入門編以降を設けて欲しい。
- ・ 流山の歴史刊行事業に関する質問について

以上の点が委員からの意見として記載させていただきました。

以上で平成21年度事業報告を終了します。

(小川会長)

只今、事務局より説明のありました平成21年度市史編さん事業報告について、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

(山田委員)

明治大学校友会とはどのような組織なのでしょうか。

(川根館長)

明治大学のOBの組織です。

(清藤委員)

日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会での内容はどのようなものであったのか説明を願いたい。

(小栗係長)

平成20年度に市内で民間調査機関の会社が発掘調査を実施していたが、倒産をしてしまい、整理・報告書刊行事業がとまってしまった。この調査の課程や問題点についての話を報告した。

(小川会長)

一人暮らし老人向けの講座はめずらしいがどのような内容か。

(小栗係長)

高齢者福祉課からの依頼を受けたものである。担当課が実施している一人暮らし老人向けの行事の一つとして行ったものである。今回は縄文時代から平安時代までを説明した。

(小川会長)

何人くらい参加していたのか。

(小栗係長)

98名の参加でした。

(山田委員)

利根運河関係資料とはどのようなものを収集しているのか。

(小栗係長)

市民の方から手紙などを含めて寄贈をいただいている。写真が多いが、文献については少い。なかなか収集には苦勞している。

(小川会長)

3館のそれぞれの調査で何か新しい発見などはあったのでしょうか。

(小栗係長)

関宿・野田とも新資料についての報告は聞いていないが、それぞれの館でわからなかったことが補完することができたと聞いている。

(村田委員)

古文書解説講座の指摘事項として、初心者コース以降の講座につい

でも検討されたいとなっているが、一概にコースを作ることを考えるのではなく、受講者が自ら勉強できる環境（生涯学習の推進）を整えていくことを行って欲しい。

（下津谷委員）

市史研究について、原稿を待っているだけではなかなか刊行できない。どんどん依頼すべきと思われるが、どのような状況か。

（小栗係長）

原稿募集については、消極的である。ご指摘のとおり、前向きに検討していきたい。

（相原副会長）

利根運河の自然的景観についての研究があまり進んでいない。小疇委員にご協力していただきたい。

（小川会長）

特に意見はないようですので、事業報告については了承ということで、次の議題に入りたいと思います。

議題（２）平成 22 年度市史編さん事業計画について事務局より説明をお願いします。

（小栗係長）

続いて、平成 22 年度の市史編さん事業計画を報告いたします。市史編さん審議会ですが、本日を 1 回目として、年間 2 回を適宜に開催させていただく予定であります。次回は 2 月に開催予定です。

市史編集委員会は、適宜開催で年間 2 回を予定しています。委員については留任を予定しています。

古文書講座でございますが、収蔵する古文書をテキストに使用し、日本史と流山史の時代背景を解説し、文字解読の楽しさを理解することを目的に開催いたします。今年度におきましては、「知の講座」の開催に伴い、開催しませんでした。

講師派遣事業は市民グループ等の要請に応じて、史跡めぐり、講座等へ職員を講師として派遣し、市史編さん活動事業の啓発を通年で実施します。

資料の収集・保管事業も継続して行います。市内外旧家の資史料所在調査の実施、及び館内古文書の解読並びにデータベース化を実施します。

『流山の歴史』は、編集委員会での指摘、それに伴う原稿の修正と執筆作業を行っております。市史研究 21 号は、刊行に向け努力していきたい。

以上、22 年度の事業計画の説明でございます。

（小川会長）

只今、事務局より説明のありました平成 22 年度市史編さん事業計画について、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

（下津谷委員）

流山の歴史について、執筆者の変更も検討しているとの説明であるが、どのような状況であるのか。

(小栗係長)

編集委員会からの指摘もあり、原稿の内容について、執筆者を加えることにより内容を充実できるためである。

(川根館長)

現在の執筆者は中世と近世を専攻している臨時職員である。このため、埋蔵文化財担当職員を加えることを検討している。

(山田委員)

講師の派遣事業の中で学校への出前事業があるが、一部に偏っている事情はどうか。先生の熱意の差などからくるものなのか。

(小栗係長)

八木南小については、同校の空き教室を埋蔵文化財整理室として利用させてもらっている関係がある。

(山田委員)

博物館や歴史に興味をもってもらうためにも、他の学校にもどんどん広めていってほしい。

(小川会長)

学校教材用資料目録が刊行されており、資料を貸し出していると聞いているが、どのような状況か。

(小栗係長)

民具を中心に貸し出しについては、毎年利用がある。

(小川会長)

このほか、ご意見はございませんか。ないようですので、次の議題、その他について何かございますか。

(小栗係長)

委員の皆様は、他市で委員をされている方が多くいらっしゃるので、様々な情報をご教示いただきたいと思います。

(下津谷委員)

野田市では考古編が刊行したが、通史編も準備が進んでいるが、刊行時期は未定である。市史は、毎年刊行している。年度ごとに担当を決め、執筆者を決定している（一般投稿は認めていない）。講演会も同様な形で実施しており、毎年100名以上の参加がある。

(相原副会長・小川会長・下津谷委員・村田委員他)

地域資料の取扱いについて、実情の報告や意見の交換がなされた。

(小栗係長)

鎌ヶ谷市の審議会と編纂事業団員のシステムについて教えていただきたい。

(村田委員)

執筆は編纂事業団で、各部会長を中心に活動している。全体の計画を立て、市の計画の中に位置づけを行いながら実施してきた。

(小川会長)

他に無いようですので、平成22年度第1回流山市史編さん審議会を終了といたします。

長時間のご審議ありがとうございました。

(鈴木次長)

大変お疲れ様でした。以上で終了とさせていただきます。お気を付けてお帰り下さい。

会議終了後、企画展「利根運河120年の記録」を見学。